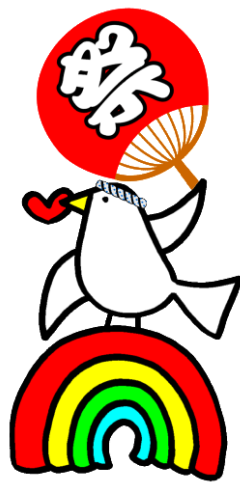


健康のまちづくり友好都市連盟
第4回健康のまちづくりサミット
@青森県大間町

報告書



令和元年10月
健康のまちづくり友好都市連盟事務局

<目次>

	Page
1. はじめに	2
2. サミットの概要	3
3. 総会	4
4. KeD（健康のまちづくり）プレゼン	5
5. ワークショップ「かがやき☆ラボ」	6
6. 意見交換会	7
7. ミニツアー	8
8. 成果・謝辞	9



1. はじめに～健康のまちづくり友好都市連盟のめざすもの

医師不足、医療崩壊、医療再編。

健診未受診、生活習慣病拡大、保険料上昇。

高齢社会、2025 年問題、看取り・介護難民。

少子化、子育て貧窮、社会格差。

人口減少社会真っ只中、日本中の自治体が健康のまちづくりを検討しなければいけない時代となりました。

どうせ全国各地でやらなければいけないなら、嫌々、打ちひしがれながら取り組むのではなく、楽しく、仲良く、共に効果的に、健康づくりやまちづくりに取り組めないか。

この思いをもとに、健康のまちづくり友好都市連盟は発足しました。

健康のまちづくり友好都市連盟は、

「全国各地で取り組まれている地域ぐるみの健康増進活動・政策およびまちづくり活動・政策の共有、発展を推進し、よりよい地域の実現や地域存続可能性の向上に寄与すること」

を目的とし、

①ワークショップ・研究会（健康のまちづくりサミット）の開催（年1回）、

②活動報告書（健康のまちづくりの軌跡）による加盟市区町村の取り組みの共有（年1回）、

③SNSによる参加市区町村の取り組みの共有（随時）

の3つの事業を、楽しくゆるく実施する連盟です。

加盟条件は一切なく、加盟費や年会費などの経済的負担も一切ありません。

令和元年 10 月 25 日現在、以下のとおり 28 自治体が加盟しています。

【加盟自治体／順不同】

福井県 高浜町・鯖江市・美浜町 石川県 加賀市 宮崎県 小林市・延岡市

北海道 稚内市 京都府 宮津市・亀岡市 新潟県 粟島浦村 千葉県 市原市・千葉市

島根県 益田市・海士町 青森県 大間町・むつ市 広島県 庄原市 長野県 栄村

岩手県 一関市 大阪府 大東市 兵庫県 香美町 福岡県 大牟田市 大分県 杵築市

静岡県 森町 茨城県 行方市 群馬県 大泉町 愛媛県宇和島市 高知県大月町

ここに、令和元年 10 月 19 日 ～ 20 日に開催されました、「第 4 回健康のまちづくりサミット」の様子をご報告申し上げます。

2. サミットの概要 (別添資料1)

1) 日時

令和元年 10 月 19 日 (土) 10 時 ~ 20 日 (日) 14 時

2) 会場

大間町総合開発センター (青森県下北郡大間町大字大間字奥戸下道 20-1)

3) プログラム

○10月19日 (土)

10:00~11:00 総会

11:00~14:00 KeD (健康のまちづくり) プレゼン

14:00~17:00 ワークショップ「いきいき☆ラボ」

18:30~20:30 意見交換会

○10月20日 (日)

10:00~14:00 ミニツアー

4) 主幹自治体

青森県大間町 (住民福祉課)

5) 参加者 (115 名)

顧問：和田 行男 氏

参加自治体：福井県高浜町 (7 名)・福井県鯖江市 (2 名)・石川県加賀市 (1 名)・
宮崎県小林市 (3 名)・北海道稚内市 (7 名)・宮崎県延岡市 (2 名)・
福井県美浜町 (2 名)・千葉縣市原市 (4 名)・青森県大間町 (55 名)・
千葉県千葉市 (1 名)・広島県庄原市 (1 名)・長野県栄村 (4 名)・
岩手県一関市 (2 名)・兵庫県香美町 (1 名)・京都府亀岡市 (1 名)・
青森県むつ市 (12 名)・静岡県森町 (2 名)・茨城県行方市 (2 名)・
愛媛県宇和島市 (3 名)・高知県大月町 (2 名)

計 20 自治体 (114 名)

3. 総会

1) 概要・目的

総会は、健康のまちづくり友好都市連盟として決議すべき事項を、加盟自治体を会員として決議する機関です。

まず始めに、主幹自治体である 青森県大間町 金澤 満春 町長 より歓迎のご挨拶をいただき、次に、事務局より健康のまちづくり友好都市連盟の目的や活動概要について説明しました。

その後規約によりサミット開催主幹自治体より議長が選出され、大間町 菊池 武利 副町長 を議長として以下の内容について議論されました。

2) 内容

今年度は、以下の1点を総会で議決いたしました。

i) 2021 年度（令和 3 年度）のサミット開催について

2021 年度（令和 3 年度）のサミット開催地は、立候補があった「千葉県 市原市」に決定しました。

なお、2020 年度（令和 2 年度）は「北海道 稚内市」で開催されます。（2020/9/26～27）



【金澤 満春 大間町長】



【菊池 武利 大間町副町長（議長）】



【和田 行男 顧問】



【総会の様子】

4. 定例企画：KeD（健康のまちづくり）プレゼン（別添資料2）

1) 概要・目的

KeD（健康のまちづくり）プレゼンは、健康のまちづくりサミットの定例企画として実施されました。健康づくりやまちづくりなど、加盟自治体がそれぞれ取り組んでいることを中心に自由な形式のプレゼンテーションを行い、それぞれの自治体の取り組みの方法や成果、プレゼンターや自治体関係者の思いを共有し、互いに参考にし、また、勇気づけ合うための企画です。各自治体に1枚ずつ評点用紙が配布され、内容面と表現面それぞれ10点満点で評価され、総合得点の最も高かった自治体（主幹自治体は評価対象外）を「最優秀賞」とし、賞状と優勝旗、記念品が、また、主幹自治体が独断と偏見で決定する「主幹自治体特別賞」には、賞状と記念品が用意されます。登壇は自由ですが、今回、参加20自治体すべてより発表がありました。

2) 内容

健康のまちづくり推進に取り組む自治体、認知症対策に奮闘する自治体、医師招聘のきっかけを出し続ける自治体、健康についての思いを語る自治体、完全に地元PRに走る自治体など、さまざまなノウハウと思いが共有されました。**最優秀賞は寸劇により村の現状をプレゼンした「長野県 栄村」、主幹自治体特別賞は「岩手県 一関市」に贈られました。**



【最優秀賞の「長野県 栄村」のプレゼン風景】



【最優秀賞：長野県 栄村】



【主幹自治体特別賞：岩手県一関市】

5. 自治体オリジナル企画：ワークショップ「いきいき☆ラボ」

1) 概要・目的

第4回健康のまちづくりサミット主幹自治体・青森県大間町さんオリジナル企画は、ワークショップ「いきいき☆ラボ」をご用意いただきました。当ワークショップは、「住み続けたいまちづくり」を目指して、住民・医療従事者・介護従事者・行政がともに考えていくためのきっかけづくり（顔の見える関係や意見の違いを知るなど）を目的に発案されました。

2) 内容

11グループに分かれ、「住み続けたいまちづくり」に関する課題と原因について、どのようなことを小テーマとして取り上げるかを議論しました。その後、決められた小テーマについて、その「問題点」と「原因」、「目指す姿」、「対策」を、席替えをしてメンバーを入れ替えながら話し合い、最後に会場全体でどのような意見が出たかを共有しました。

各グループでは、「身近に安心して医療が受けられるまちづくり」「雇用対策の安定と医療が充実したまちづくり」「若者が定着するには」「愛着が生まれるまち」など、全11の小テーマについて多くの意見が活発に出されました。それぞれ各自治体の取り組みに還元できる、有益な議論になったと感じています。



【大間町企画：いきいき☆ラボの様子】

6. 意見交換会

1) 概要・目的

健康のまちづくりサミットの一番の目的は、加盟自治体の関係者同士がとにかく親しく、顔が見えて心も見える関係を築き、日々の業務での親身な相談や情報共有を実現させることにあります。意見交換会では、主幹自治体関係者の地元ならではの出し物や各自治体から寄せられた非常に多くの地元の逸品を話のタネに、盛んな交流が図られました。

2) 内容

会場を移した後、「津軽海峡海鳴り太鼓」の皆さんによる迫力あるパフォーマンスを皮切りに、主幹自治体の皆さまへのねぎらいと、次年度主幹自治体の 北海道 稚内市 の皆さまの意気込みが投げかけられ、各々写真撮影や懇談、情報交換がなされ、交流の進む会となりました。



7. ミニツアー

1) 概要・目的

健康のまちづくりサミットは、毎年加盟自治体を持ち回りで開催されます。せっかくサミットでなかまの自治体を訪れるなら、互いの理解の推進とまちづくりのヒントを得るため、主幹自治体関係者の勤める場所を訪れて自治体を深く理解し楽しむ行程が、自由参加で実施されました。

2) 内容

今回の開催地である青森県大間町では、案内人としてYプロジェクト(株) 島 康子 さん にも同行いただき、「大間崎の散策」や「浜町まち歩き」など、大間町を巡るミニツアーを実施しました。



【ミニツアーの様子】

8. 成果・謝辞

令和元年 10 月 25 日現在、本連盟には全国の 28 の自治体が加盟し、第 4 回健康のまちづくりサミットへは 20 自治体より 115 名が参加されました。そこで交わされた意見、情報、地域への思いは数知れず、新たな出会いも計り知れないほどと思います。何よりも、参加された皆様より、「ためになったし、本当に楽しかった。元気を取り戻すことができた」「全国のナカマができた」「来年もぜひ参加したい」という声が聞けたことが、本連盟の趣旨に合致する成果そのものであると考えています。行政も住民も専門職も、やらなければならないこととして必死に取り組み、「健康づくり疲れ」「まちづくり疲れ」しがちな本分野。これからも加盟自治体に関わる皆さんに勇気と安らぎ、工夫、知恵をもたらす機会を提供し続け、賛同される自治体を徐々に加盟いただけるよう取り組んでまいります。

今回のサミットにご参加いただきました皆様、主幹自治体の大間町の皆様、そして本連盟に賛同いただいております全ての皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました！



【第 4 回健康のまちづくりサミット／令和元年 10 月 19 日（土）青森県大間町】

以上